

# 華誠の知的財産権ニュースレター



2024年10月 第九十期

## 目 次

### 特 許

国知局が2024年1～9月の特許統計データを公表	2
2024年10月1日から知的財産権に係る以下の新たな規則が正式に実施される	3

### 商 標

国知局は2024年1～9月の商標統計データを公表	4
--------------------------	---

### 知的財産権

国知局が2024年1～9月の地理的表示と集積回路配置設計統計データを公表	5
国知局：2023年知的財産保護社会満足度調査報告	5



公式サイト：[www.watsonband.com](http://www.watsonband.com)

Eメール：[mailip@watsonband.com](mailto:mailip@watsonband.com) | [mail@watsonband.com](mailto:mail@watsonband.com)

## 特許

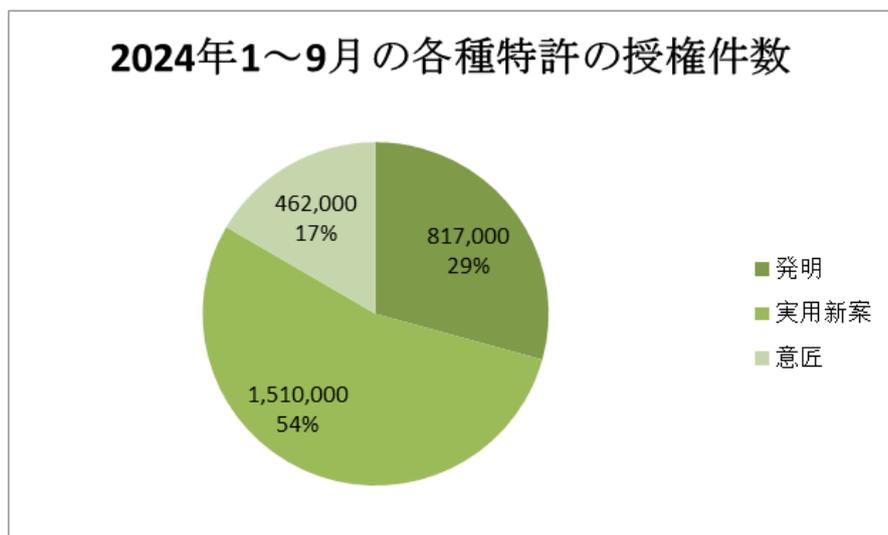
### 国知局が2024年1～9月の特許統計データを公表

このほど、国家知識産権局は2024年1～9月の知的財産権の主な統計データ速報を公表した。2023年の1～9月と比較して、発明特許の授権件数は前年同期比16.91%増、実用新案は同5.45%減、意匠は同5.32%減となった。

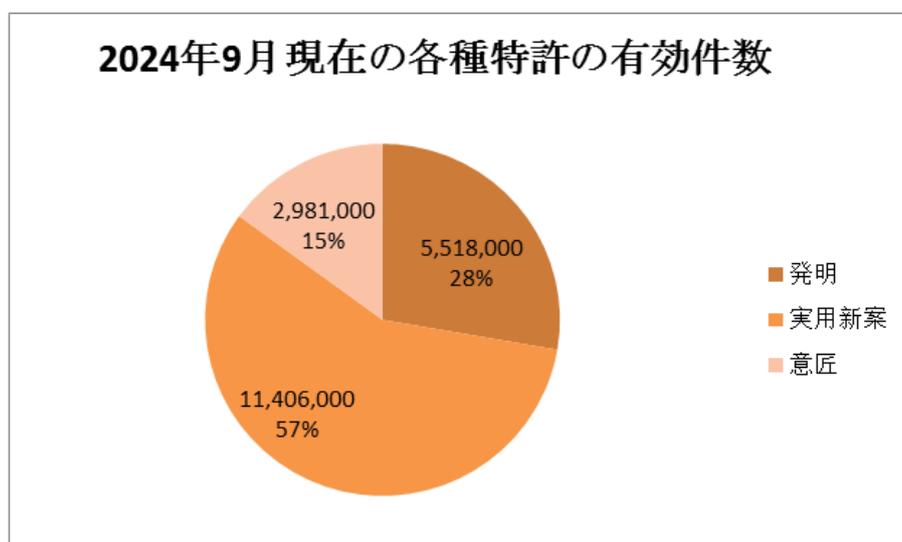
特許授権件数/件	発明特許	実用新案特許	意匠特許	合計
2023年1-9月	698,822	1,596,992	487,977	2,783,791
2024年1-9月	817,000	1,510,000	462,000	2,789,000
増加件数	118,178	-86,992	-25,977	5,209
増加率	16.91%	-5.45%	-5.32%	0.19%

(2023年と2024年の1～9月同期のデータ比較)

2024年1～9月、中国の発明特許の授権件数は81.7万件、実用新案特許の授権件数は151.0万件、意匠特許の授権件数は46.2万件であった。



2024年9月末現在、中国の発明特許の有効件数は551.8万件である。そのうち、国内（香港・マカオ・台湾を除く）の発明特許の有効件数は453.3万件、実用新案特許の有効件数は1,140.6万件、意匠特許の有効件数は298.1万件である。



## 特許

1～9月に当局はPCT国際特許出願を5.3万件受理した。そのうち、国内出願人は4.9万件提出した。

1～9月に中国の出願人は意匠国際出願を1,594件提出し、1,813件が意匠国際出願で中国を指定したことを既に公開している。

(国家知識産権局 より)

### 2024年10月1日から知的財産権に係る以下の新たな規則が正式に実施される。

(1) 10月1日から、欧州中継局から配布される公式文書において引用する特許文献は紙のコピーを提供しない。

先ごろ、欧州特許庁(以下、「EPO」という)は、2024年10月1日から、EPCとPCTの検索と審査手続において引用する特許文献のファイルにはEspacenetを通じてアクセスし、紙のコピーは提供しないという情報をリリースした。

EPOは、その最先端のツールを通じて特許の授権過程において特許文書を引用するための即時アクセスをユーザーに提供し、毎年600万ページの紙を節約できる。これはEPOがペーパーレス化を通じて持続可能性の発展を高めるもう一つの重要なステップであり、そのSP2028の戦略計画に符合している。

10月1日から、EPOはEPOとPCTの検索と審査手続で引用する特許文献を電子形式で提供し、かつメールでMyEPOユーザーに送信している。依然として紙の郵送に依存しているユーザーは、まだEspacenetを通じて検索報告、書面による意見、国際予備審査報告で引用する特許文献にアクセスできる。

(頁之碼 IP より)

### (2) 米国特許商標庁、2024年10月1日に庁費用の大幅な引き上げを予定

2024年4月3日の米国のFederal Registerによると、米国特許商標局(USPTO)は2025年度の特許費用構造に対する重大な調整を行い、2024年6月3日までにパブリックコメントを受け入れる予定である。今回の庁費用の調整は2024年10月1日に実施する予定となっている。

そのうち、重要な変革の内容は以下の通りである。

意匠出願手数料を引き上げるにより、インフレに対応する。

クレーム追加手数料を増やし、出願人に簡潔で焦点を定めた特許出願の提出を促す。

2回目以降のRCEの手数料を引き上げ、より効率的な審査を促進する。

仮出願の応答期間延長手数料を引き下げる。

5年以上及び8年以上の継続的出願の追加手数料を新たに設けることにより、審査による維持費の損失を補う。

IDSの文献数別手数料徴収基準を新設し、業務担当者の業務のリスクを低減する。

AFCP2.0の手数料徴収基準を新たに増やす。

(米国「Federal Register」より)

## 特許

### (3) 10月1日から発効、オーストラリア特許 / 商標の新たな庁費用の基準を調整

先ごろ、IP Australia は「CRIS 2024-2025」のドラフトをリリースした。オーストラリアの発明、意匠出願と商標登録手数料は一定の増加があり、新たな庁費用の基準は 2024 年 10 月に効力を生じる。

主な変化：

- ・特許出願手数料と審査手数料が 10% 程度増加する。
- ・特許の異議と聴聞会に関するすべての手数料が 2 倍になる。
- ・20 を超えるクレームのクレーム追加手数料は実体審査請求を提出した時に納付するが、現在の権利追加料金は通常授権段階で納付する。
- ・意匠出願手数料を減らし、権利付与後の実体審査手数料を二増やす。
- ・商標の抹消登録申請手数料を増やす。
- ・商標の異議申立理由の数が前 3 種類を超える。

(頁之碼 IP より)

## 商標

### 国知局は 2024 年 1～9 月の商標統計データを公表

このほど、国家知識産権局のウェブサイトにて 2024 年 1～9 月の商標統計データが公表された。

1～9 月の中国の商標出願件数は 529.6 万件、商標登録件数は 358.6 万件であった。2024 年 9 月現在、有効な登録商標は 4889.7 万件となっている。

1～9 月に当局は中国出願人のマドリッド商標国際登録出願を 5,431 件受け取った。

#### 1～8 月商標データ比較 (2023 年と 2024 年)

(単位：件)

	当年累計 登録	有効件数	異議申立	拒絶査定 不服審判 請求	無効審判 請求	商標登録 取消不服 審判
2024 年	3,168,740	48,565,535	81,389	222,759	47,250	12,228
2023 年	2,718,370	44,781,027	71,793	193,222	45,583	13,548
変動量	<b>450,370</b>	<b>3,784,508</b>	<b>9,596</b>	<b>29,537</b>	<b>1,667</b>	<b>-1,320</b>
増加率	<b>16.57%</b>	<b>8.45%</b>	<b>13.37%</b>	<b>15.29%</b>	<b>3.66%</b>	<b>9.74%</b>

(国家知識産権局 より)

## 知的財産権

## 国知局が 2024 年 1～9 月の地理的表示と集積回路配置設計統計データを公表

	地理的表示製品を 承認	地理的表示商標の団 体商標、証明商標とし ての登録を承認	地理的表示専用標 章を使用する市場 主体を承認
2024 年 1～9 月	15	116	6,820
2024 年 9 月現在の累 計	2,523	7,393	31,744

1～9月の中国の集積回路配置設計の登録出願は8,325件となり、7,703件に証書が発行された。

(国家知識産権局 より)

## 国知局 :2023 年知的財産保護社会満足度調査報告

このほど、国家知識産権局は公式サイトで「2023年知的財産権保護社会満足度調査報告」をリリースした。調査結果によると、2023年の全国の知的財産権保護社会満足度スコアは82.04ポイントで、2022年より0.79ポイント上昇し、調査開始当初（2012年、以下同じ）より18.35ポイント上昇した。近年、知的財産権保護社会満足度スコアは着実に上昇傾向にある（図1.1.1の通り）。

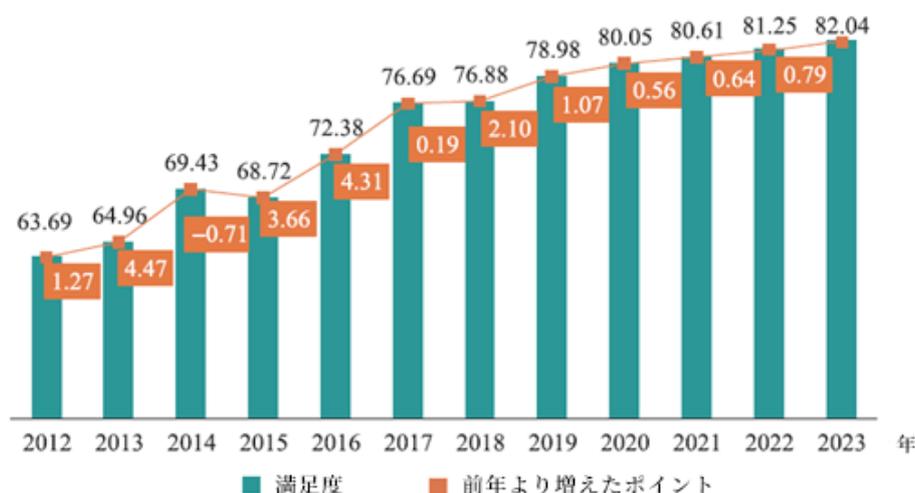
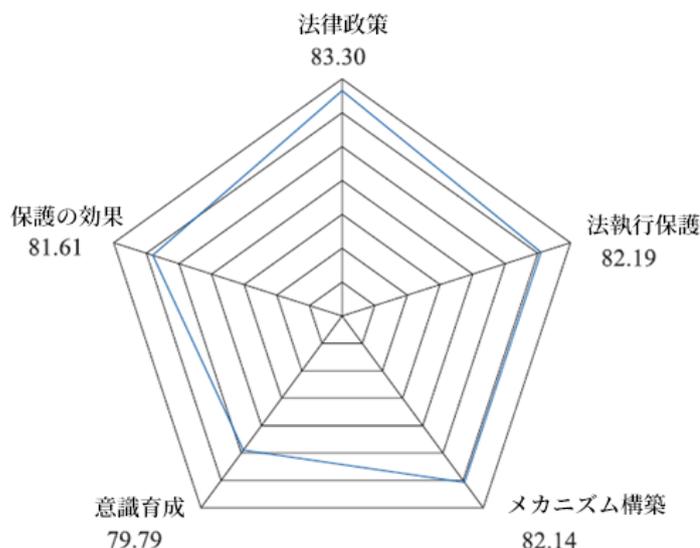


図1.1.1 2012～2023年全国知的財産権保護社会満足度

## 知的財産権

### レベル 1 指標満足度スコアの状況

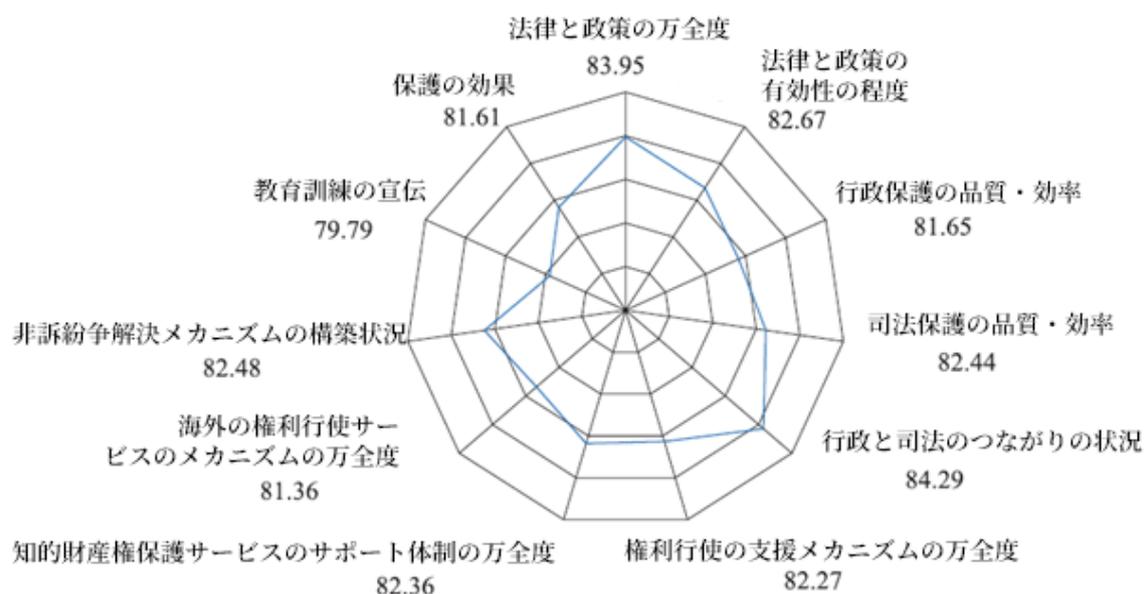


レベル 1 指標	2023 年スコア	2022 年スコア	スコアの変化状況
法律政策	83.30	82.46	+0.84
法執行保護	82.19	81.37	+0.82
メカニズム構築	82.14	81.62	+0.52
意識育成	79.79	78.57	+1.22
保護の効果	81.61	80.59	+1.02

図 1.2.1 2023 年全国知的財産権保護社会満足度レベル 1 指標スコア<sup>①</sup>

●レーダーチャートの数値は中心から外側に向かって増加し、多角形線分交点は図形分析次元を表し、レーダーチャートの面積は知的財産権満足度の総合的な状況を評価することができる。

### レベル 2 指標満足度スコアの状況



## 知的財産権

レベル 2 指標	2023 年スコア	2022 年スコア	スコアの変化状況
法律と政策の万全度	83.95	82.99	+0.96
法律と政策の有効性の程度	82.67	81.95	+0.72
行政保護の品質・効率	81.65	80.98	+0.67
司法保護の品質・効率	82.44	81.51	+0.93
行政と司法のつながりの状況	84.29	83.13	+1.16
権利行使の支援メカニズムの万全度	82.27	81.03	+1.24
知的財産権保護サービスのサポート体制の万全度	82.36	81.51	+0.85
海外の権利行使サービスのメカニズムの万全度	81.36	82.65	-1.29
非訴紛争解決メカニズムの構築状況	82.48	81.33	+1.15
教育訓練の宣伝	79.79	78.57	+1.22
保護の効果	81.61	80.59	+1.02

図 1.2.2 2023 年全国知的財産権保護社会満足度レベル 2 指標スコア

### 各グループの知的財産保護に対する満足度の状況

3 種類の回答グループを見ると、2023 年は専門家の知的財産権保護に対する満足度が最も高く、スコアは 82.99 ポイントであった。知的財産権保護に対する権利者の満足度スコアは 82.35 ポイント、知的財産権保護に対する社会一般の満足度スコアは 78.65 ポイントとなっている。



図1.3.1 2023年全国グループ別知的財産権保護社会満足度

調査開始当初に比べ、3 種類の回答グループの知的財産権保護に対する満足度スコアは大幅に上昇した。そのうち、専門家の知的財産権保護に対する満足度スコアは 19.14 ポイント上昇し、上昇幅が最も大きく、権利者と社会一般の満足度スコアはそれぞれ 17.88 ポイントと 17.87 ポイント上昇した（図 1.3.2 の通り）。



# 知的財産権

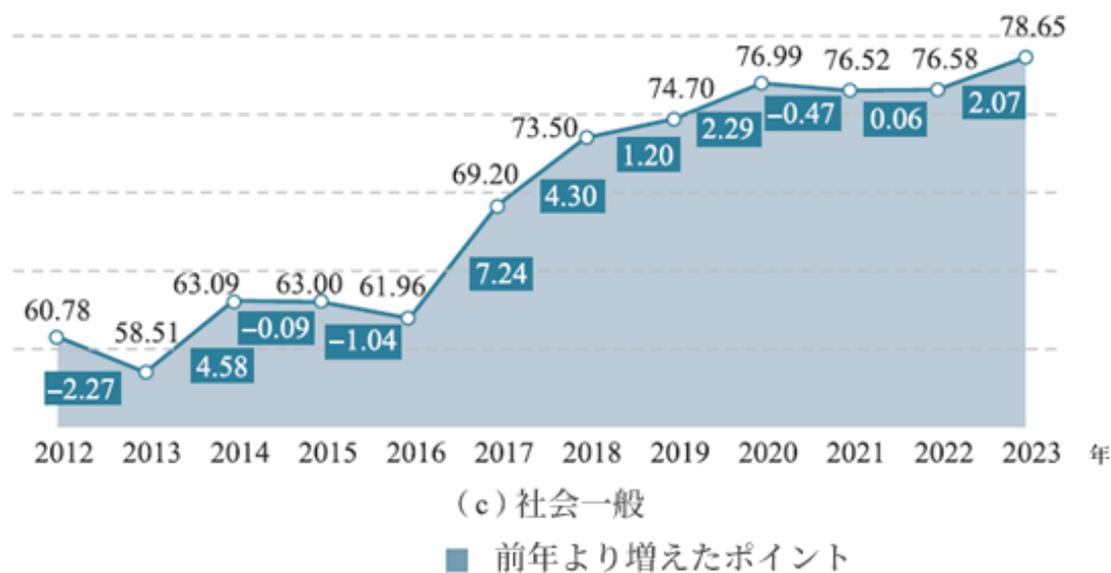
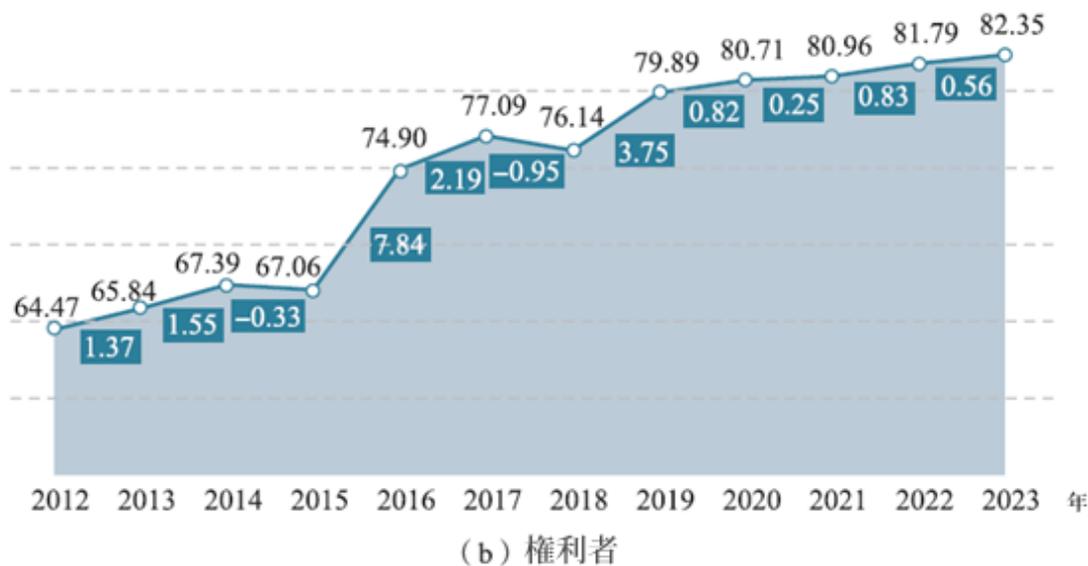


図1.3.2 2012 2023年全国グループ別知的財産権保護社会満足度

(国家知識産権局 より)